

安倍政権は
「緊縮財政」です。

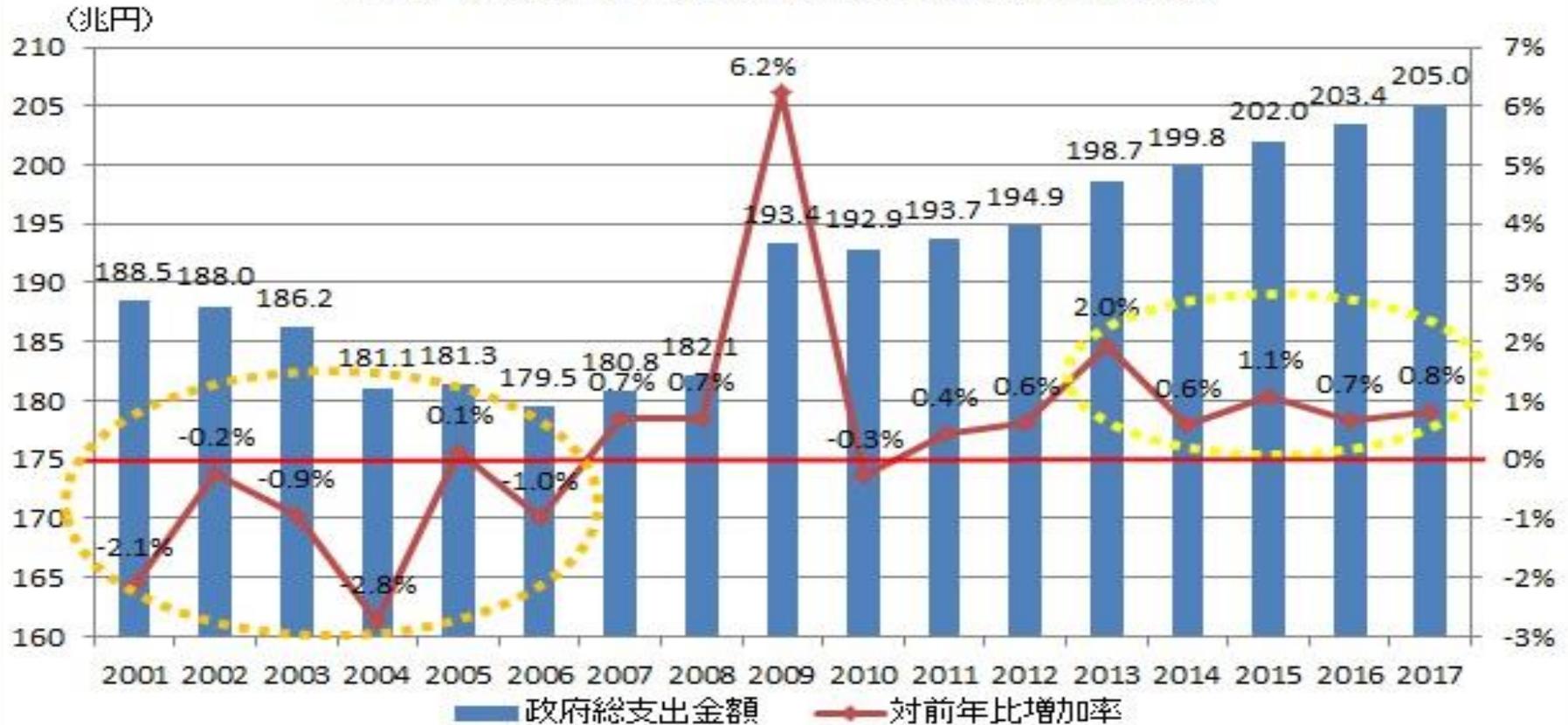
ROSE Mark Campaign

何よりも、人びとのための経済政策を！



安倍政権はそこまで政府総支出を 増やしてはいない。

21世紀の日本の政府総支出推移

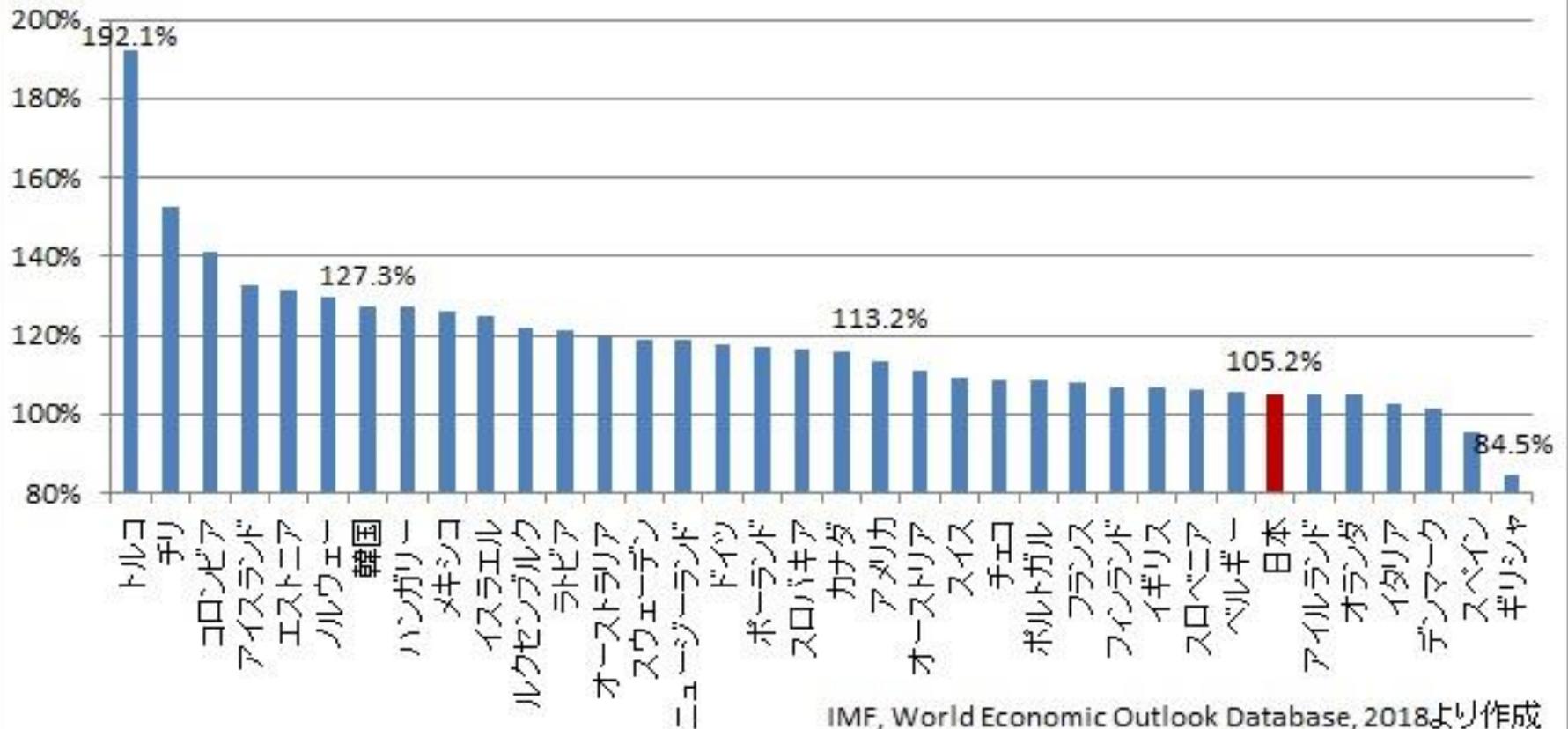


IMF, World Economic Outlook Database, 2018より作成

積極財政と呼べるのは2009年リーマンショック時の麻生政権のみ。
安倍政権は強いて言えば2013年のみ。小泉政権は超緊縮財政。

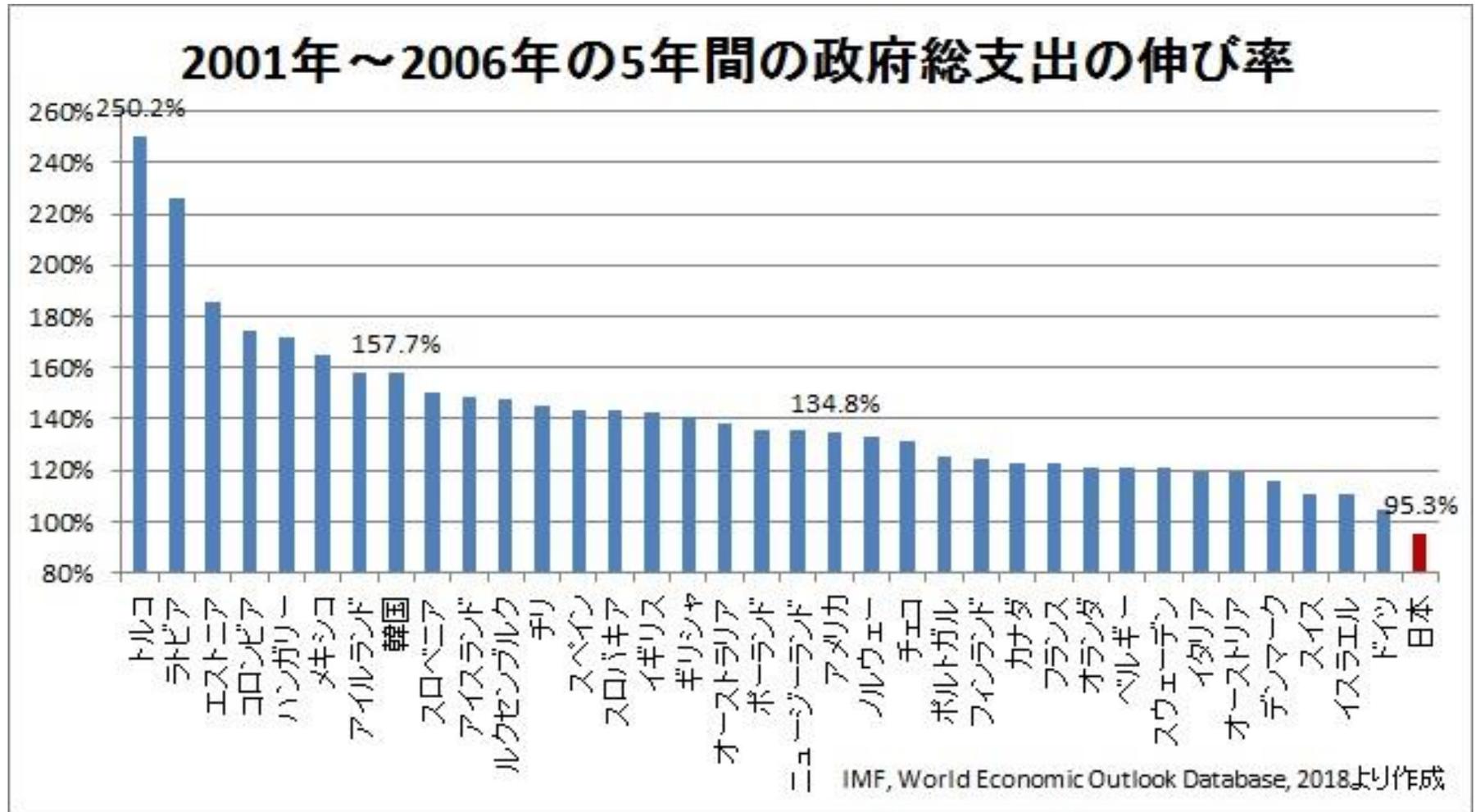
安倍政権の政府総支出の伸び率を OECD加盟の先進国36ヶ国で比較

2012年～2017年の5年間の政府総支出の伸び率



OECD加盟国36ヶ国中30番目。先進国比較では緊縮財政の政権。
世界191ヶ国中では158番目。やはり、緊縮財政の部類になる。

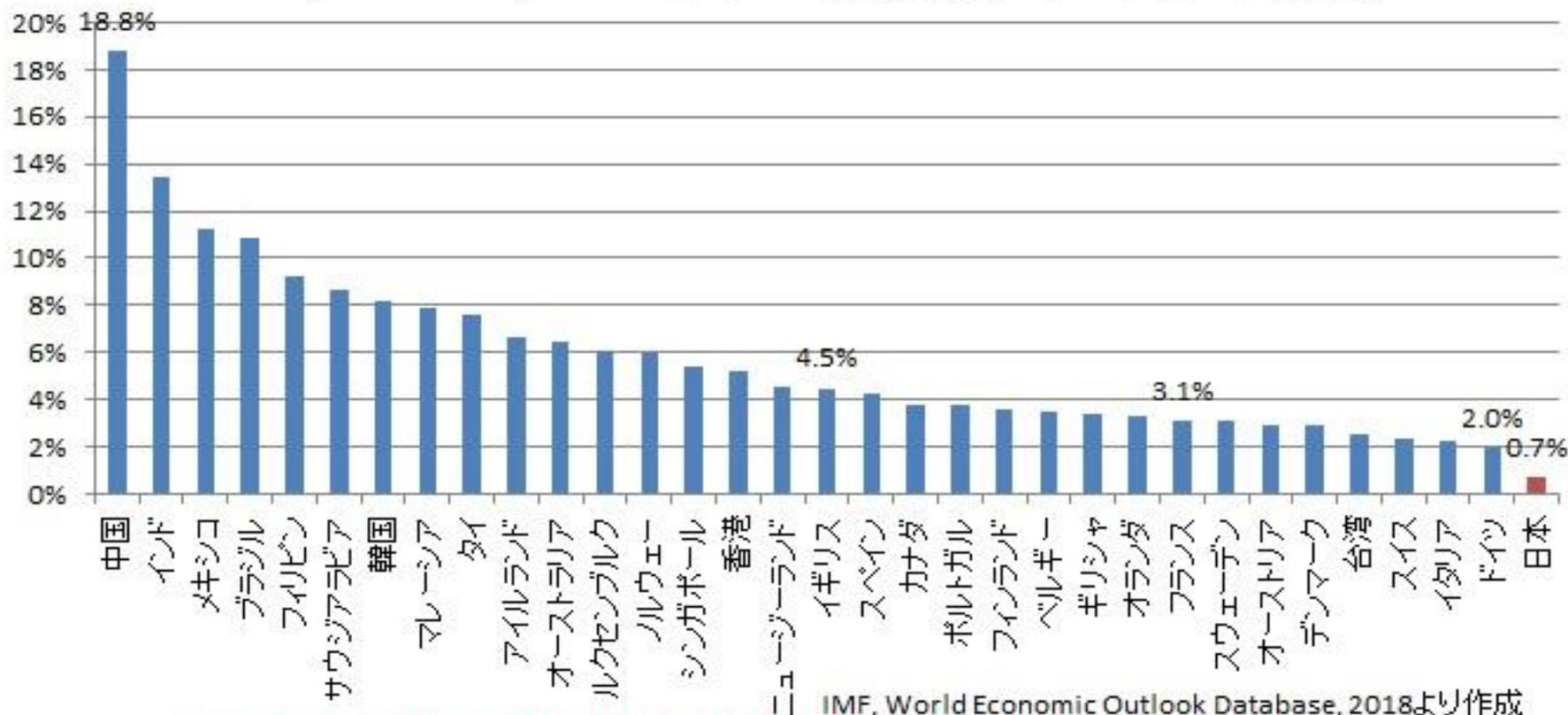
小泉政権の政府総支出の伸び率も OECD加盟の先進国36ヶ国で比較



OECD加盟国36ヶ国中36番目の最下位。小泉政権は超緊縮財政。
世界179ヶ国中では178番目。断じて積極財政の政権ではない。

過去20年間の政府総支出の伸び率では・・・

1997年～2016年の20年間の政府総支出の年平均増加率



先進国は毎年平均4%ほど政府総支出を増やしている。

過去20年間の日本の政府総支出の年平均増加率は、**世界最下位**。よって、日本は**世界一財政出動していない国**である。

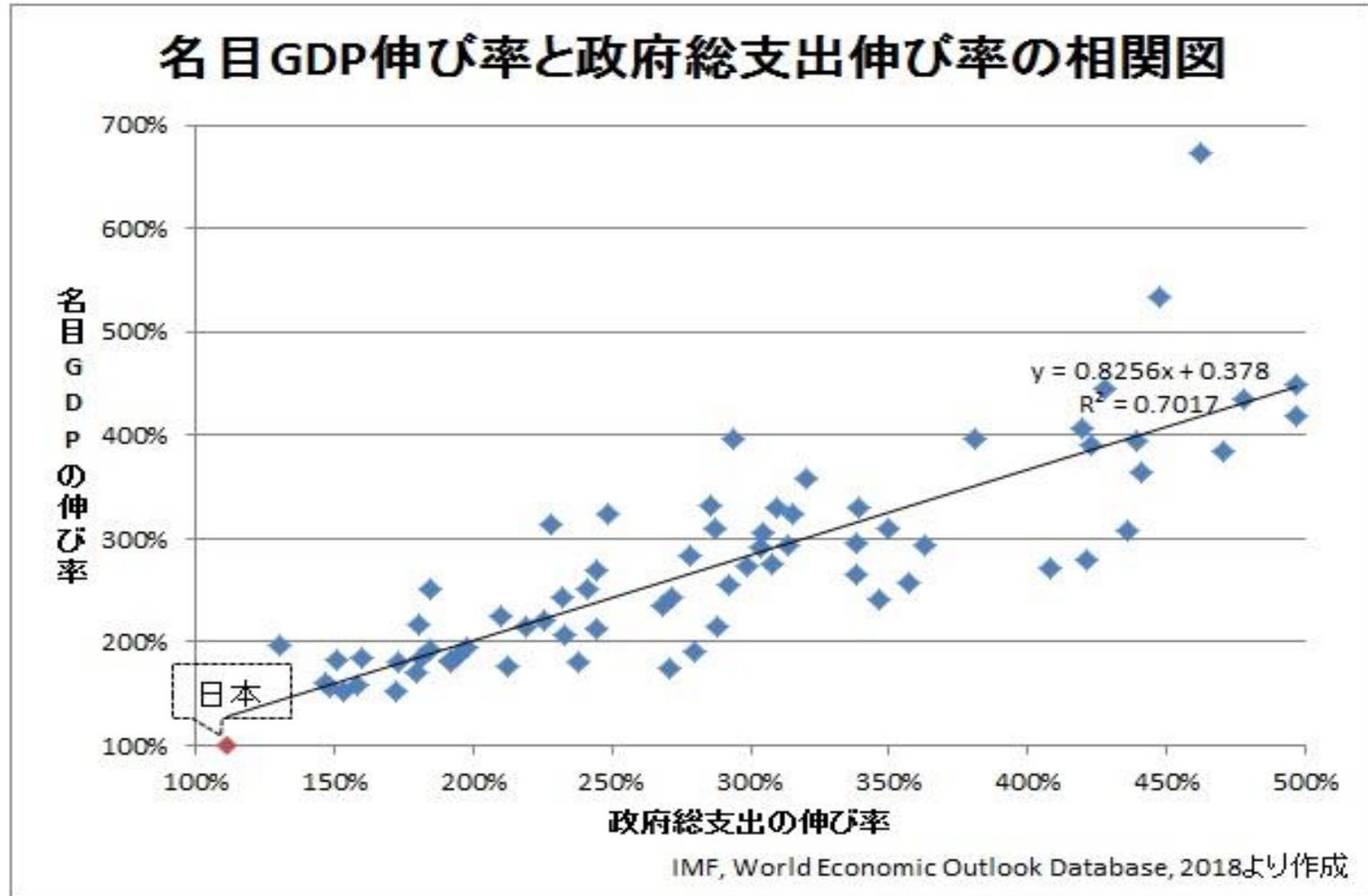
結果、20年間の名目GDP伸び率も、 日本は世界最下位

1997年～2016年の20年間の名目GDPの伸び率



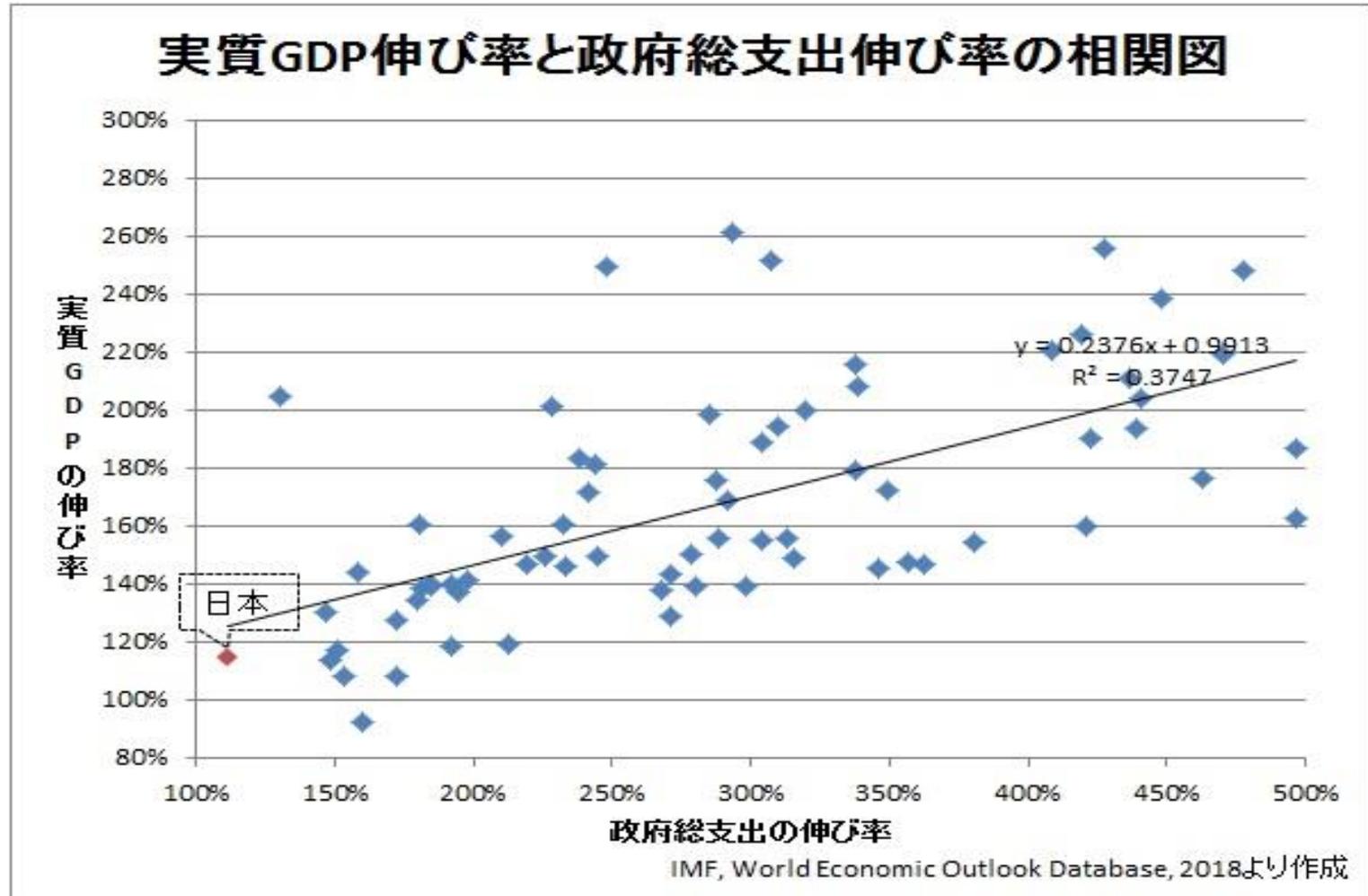
財政出動していない日本は世界で唯一、名目経済成長していない国。
政府総支出を増やさないと、長期的に持続可能な経済成長も不可。

名目GDP伸び率と政府総支出伸び率には、
明確な相関関係がある。



20年間の政府総支出の伸び率が500%以内の物価が安定した71ヶ国で調べた結果、相関係数は0.838と高い相関関係にあった。

実質GDP伸び率と政府総支出伸び率にも、
それなりの相関関係がある。



物価上昇率を除いた実質GDPであっても、政府総支出の伸び率との相関係数は0.612と、比較的高い相関関係にあった。

結果、経済成長率(GDP伸び率)は、
政府総支出伸び率によって、ほぼ決まる。

GDP =

個人消費 + 民間投資
+ 政府支出 + 純輸出

GDPの計算式の一項目に、政府支出があるのだから、
少し考えてみれば、相関関係があるのは当たり前の結果。

薔薇マークキャンペーンは、 ボトムアップ社会政策と対立するのか？

薔薇マーク キャンペーン

- ・社会保障の充実
- ・庶民減税
- ・防災、公共インフラ投資

ボトムアップ 社会政策

- ・格差是正
- ・賃金の引き上げ
- ・持続可能な経済

VS ?

薔薇マークキャンペーンは、ボトムアップ
社会政策も内包した経済政策を出しています。

薔薇マークキャンペーン

・社会保障の充実、・庶民減税、・防災、公共インフラ投資

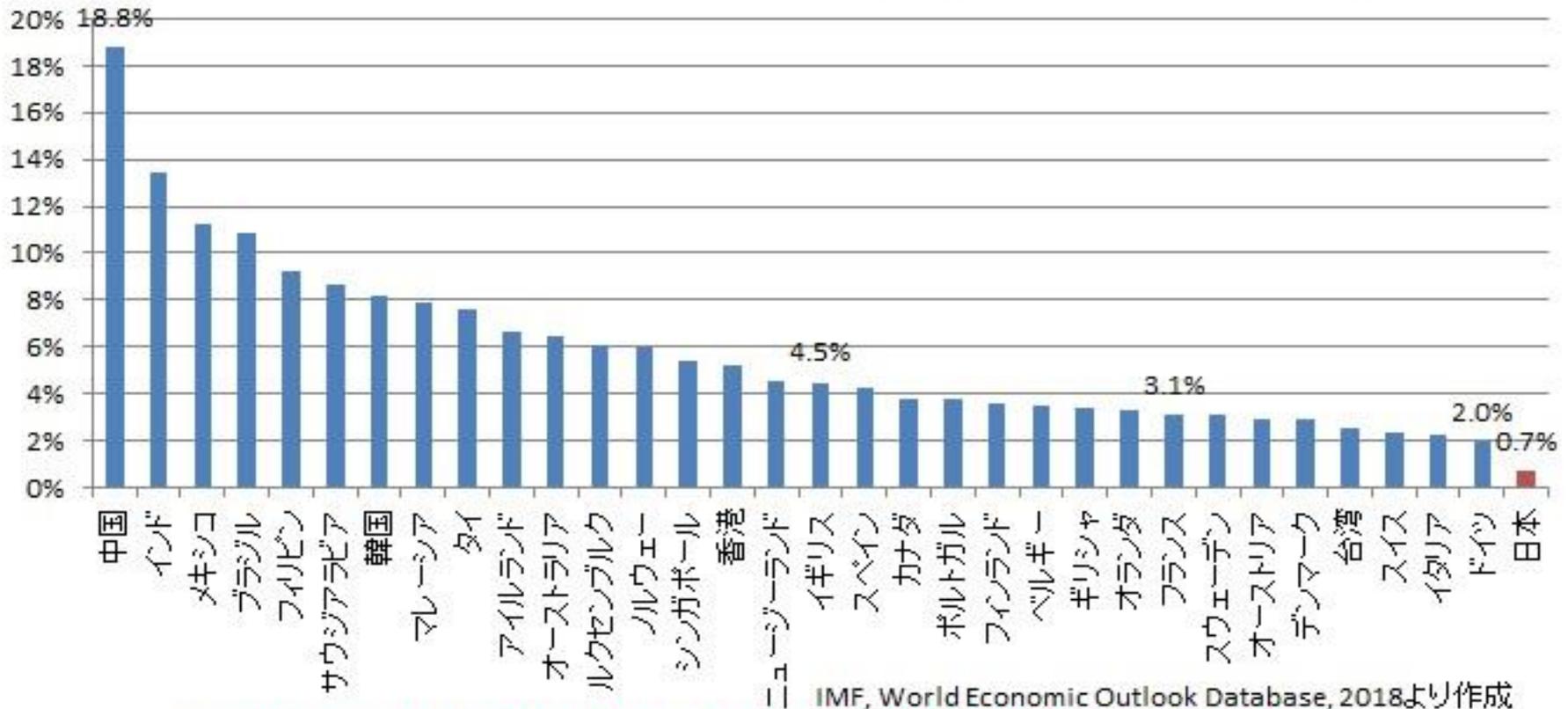
ボトムアップ 社会政策

・格差是正
・賃金の引き上げ
・持続可能な経済

社会保障などの政府支出の増額や最低賃金の引き上げにより、
ボトムアップの個人消費を喚起し、持続可能な経済成長を実現。

先進国平均の毎年4%の政府総支出の増加が持続可能な経済成長には必要

1997年～2016年の20年間の政府総支出の年平均増加率



先進国は毎年平均4%ほど政府総支出を増やしている。

他の先進国と同様に、せめて年率4%の政府総支出の増加で、長期的に持続可能な経済成長を目指しましょう。